

歯科技工所アンケート集計結果

低賃金に過重労働、後継者いない

群馬県保険医協会では、歯科医療補綴分野の重要な担い手である歯科技工所（主）の現状を正確に把握し、問題への理解を深めるため、県内全技術者（369件）に「歯科技工所の経営・労務状況等に関するアンケート」を実施し、89件から回答を得た（回収率24%）。

○アンケート結果の概要
県内の歯科技工士のうち、週71時間以上就労している人は38・2%、週91時間以上は10%以上という過酷な長時間労働の実態が明らかとなつた。また、1週間のうち休日が「ほとんど取れない」という人も3割近くに上つた。

このよきな長時間労働を行つていても、可処分所得20万円以下の1人ラボが約5割となるなど、低収入の状況が見てとれる。

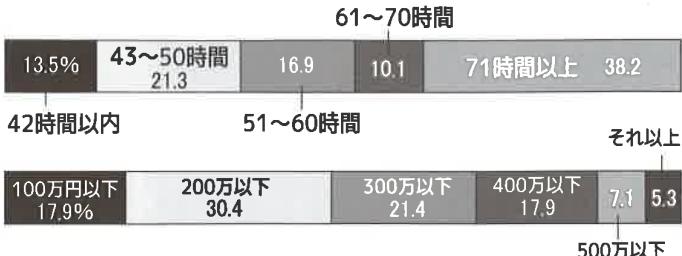
「複数」「全部鋳造冠」「鋳造二腕鉤」それぞれの現行取引価格と製作期間を比較すると、923～1500円程度であることがわかる。これ

は、国家資格を持つ歯科技工士が、一人ひとりの患者のためにオーダーメイドで製作した時間単価としては、余りに低すぎるようと思われる。

技術工の価格が低くなる原因を問う設問では、83・1%が「歯科技工所間のダンピング競争」を原因とみなしておらず、最も少なかつたのは「補綴関連の低診療報酬」49・4%だった。

問題視するもの、それに伴う歯科医師との力関係についての意見を多くいただいた。

◆1週間の労働時間



◆昨年の可処分所得 (総売り上げ-経費)*1人ラボ



◆歯科技工物の価格が低くなる原因是



◆適正技工料金を保障するために有効な方策は



◆後継者は

本アンケートは、全国各協会で実施されており、その結果を保団連に集積し、今後の歯科技工に係る改善運動に役立つとともに、当会でも議論を深めていきたいと考えている。

◇実施期間…2016年5月1日～6月15日
◇実施方法…アンケート用紙を郵送、記入して返送

*アンケート結果の全文は、当会ホームページに掲載しています。